

第1号議案

「休眠預金事業 生活困窮世帯や社会的孤立者への支援事業における実行団体の選定」 について

別添資料：選定会議による報告書

1. 募集から選定会までの流れ

8月17日(月)	公募要領公開
8月26日(水)・28日(金)	公募説明会の開催(2回・オンライン)
9月1日(火)	Q&A集web掲載、説明会の様子をYoutubeに掲載
8月17日(月)～9月30日(水)	申請受付
10月1日(木)	9月30日締切の後、反社チェック、選定委員に資料送付
10月12日(水)	書類選定結果とりまとめ
10月13日(火)	面談選定団体決定
10月17日(土)	面談選定、選定会議

2. 申請結果

40団体からの申請があった。

テーマ	愛知	名古屋市	岐阜	三重	静岡	長野	計
1	2	3	1	2	0	0	8
2	2	5	1	1	0	1	10
3	4	6	0	0	0	1	11
1・2	1	2	1	0	0	0	4
1・3	0	0	0	0	1	0	1
2・3	0	1	0	1	0	0	2
1・2・3	0	3	0	0	0	1	4
計	9	20	3	4	1	3	40

- テーマ：
- 1 衣食住の提供
 - 2 寄り添い型生活相談の実践
 - 3 学習や就労の支援

3. 選定方法

3人の選定委員による「書類選定(10月1日～11日)」「面談選定(10月17日)」を経て、選定会議の結果、18事業が選定にふさわしいと判断され、4事業が次点となった。

※詳細は、別添資料参照

① 書類選定は、申請事業の各々に対して、公募要領にある7項目「ガバナンス・コンプラ

イアンス」「事業の妥当性」「実行可能性」「継続性」「先駆性（革新性）」「連携と対話」「波及効果」により評価した。7項目のうち、「ガバナンス・コンプライアンス」「事業の妥当性」「実行可能性」の3項目を0～20点、残りの4項目を0～10点で評価し、合計点（100点満点）の高いものから順位をつけた。各選定委員の順位を合計し、合計の小さいものから30団体が選定された。

② 面談選定は、5団体ずつのグループでオンラインにより実施した。申請書類の内容について、あらかじめ、団体に質問票を送付し、その回答を中心に各団体5分ずつ発表した後、さらに各団体5分ずつ、選定委員による質問に答えた。

③ 選定委員は、以下の3名に委嘱した。（敬称略）

千頭 聡	日本福祉大学大学院 執行役員・教授（選定委員長）
ブイチトルン	愛知淑徳大学大学院 教授
森山 花鈴	南山大学 法学部 准教授

選定会議による報告書は別添資料の通り提出された。